

2025年度 第3回企業倫理委員会 次第

日 時 : 2025年12月8日（月）15時30分～17時30分

場 所 : 中国電力株式会社 本社1号館12階 特別会議室

議事次第 :

内容	掲載資料	担当
委員長あいさつ	—	芦谷委員長
1. コンプライアンス推進施策の主な実施内容について	P 3	コンプライアンス推進部門
【 議 論 】		
2. 内部通報制度の運用状況について (2025年8月～2025年10月)	P 6	コンプライアンス推進部門
【 議 論 】		

以 上

2025年度 第3回企業倫理委員会 委員等一覧

委員長	芦 谷 茂	代表取締役会長
副委員長	和 田 雅 樹	弁護士
副委員長 (兼.幹事)	宮 本 伸 一	常務執行役員 (コンプライアンス推進部門長)
委 員	磯 村 定 夫	中国地域ニュービジネス協議会 参与
〃	松 浦 秀 子	日新運輸工業(株) 代表取締役社長
〃	中 川 賢 剛	代表取締役社長執行役員
〃	中 嶋 謙 二	中国電力労働組合執行委員長
オブザーバー	藤 本 圭 子	取締役監査等委員
説明者	奥 貴 志	コンプライアンス推進部門部長 (総務・コンプライアンス)

1. コンプライアンス推進施策の主な実施内容について（前回委員会以降の主な取り組み）

（1）コンプライアンス強調月間の実施（11月）

これまでに発生した不適切事案の反省と教訓を風化させず、役員・社員一人ひとりが、コンプライアンス最優先の意識をさらに高めていくことを目的として、以下のとおり実施。

① 会長メッセージの伝達

各職場で、コンプライアンス強調月間にあたっての会長メッセージの動画を視聴。

【会長メッセージの主旨】

- ✓ 私たちの事業は、お客さまや地域、社会全体からの信頼により成り立っており、その信頼は、一人ひとりの誠実な行動の積み重ねによって育まれる。
 - ✓ コンプライアンスは、単なるルールの遵守ではなく、人として、企業として、どうあるべきかを問い合わせ続ける姿勢である。「お客さまに説明できるか」「家族に胸を張って話せるか」といった問い合わせを、日々の業務の中に持ち続けてほしい。
 - ✓ 誠実さ、責任感、コンプライアンスへの意識は、どんな時代においても手放してはならない行動の礎である一方で、過去からの慣習や、声を上げづらい雰囲気といった、今日ではそぐわないものは、勇気を持って変えてほしい。
- 「守るべきものを守り、変わることに挑む」姿勢こそが、私たちの未来を切り拓く力になる。

② コンプライアンス意識の浸透に向けた話し合い

自組織のみならず組織を越えた心理的安全性を確保し、組織間の連携を促進するため、「他組織への声の上げにくさ」の原因・背景について各職場で話し合いを実施。

③ 不適切事案の風化防止に向けた取り組み

過去の不適切事案の反省と教訓を風化させず、同様の事案を発生させないよう、これまでに当社で発生した不適切事案の概要や原因、再発防止に向けた取り組み等をまとめた動画を各職場で視聴。

④ 独占禁止法遵守に関する教育の実施（個別学習および理解度テスト）

独占禁止法に関する説明動画を視聴のうえ、独占禁止法に関する理解度テストを実施。

⑤ その他の意識づけ

・「職場実態・社員意識調査」結果の共有

今年度に実施した「職場実態・社員意識調査」の結果を全社員へ共有。

・各種相談窓口および社内リニエンシー制度の周知

企業倫理相談窓口等、各種相談窓口や制度の積極活用の促進の観点から、概要や目的等について全社周知。

(2) 所属長による業務点検結果のフィードバック（12月予定）

全所属長（ライン課長・マネージャー）が、自職場の問題点や弱みの早期把握・課題解決を図るため、全社共通の点検項目および事業本部等独自の点検項目に基づき点検を実施。

また、点検結果をコンプライアンス推進部門にて集約し、集約結果から抽出された課題を各主管部門等と共有。

(3) グループ会社の取り組みに対する支援・フォロー（9月）

規模の大きいグループ会社4社（中国電力ネットワーク、中電工、エネコム、中電プラント）のコンプライアンス推進やリスク管理に係る取り組みの運用状況や課題等について意見交換を実施。

今後、個別に選定したグループ会社4社（中電技術コンサルタント、エネルギー・ソリューション・アンド・サービス、大崎クールジェン、エネルギー・パワー山口）への訪問を予定。

(4) 個人情報保護に係る教育の実施（9月）

個人情報保護に対する意識の向上を図ることを目的に、役員・社員を対象とした個人研修（動画視聴・理解度テスト）を実施。

(5) 事業所訪問の実施（9～10月）

一連の不適切事案に係る再発防止策の実効性や各種取り組みの実施状況等の確認を目的として、コンプライアンス推進部門による現地インタビュー*（一連の不適切事案の再発防止策として実施している各種研修、行為規制、個人情報保護、小売ガイドライン等）を実施。

* 訪問先は、営業所（米子、出雲、岩国、広島北）、広島CC、岡山CC、島根RC、柳井発電所、西部水力C（亀山西）、岡山支社

エネルギー営業本部および電源事業本部においては、2025年度全社コンプライアンス推進計画に基づき、各事業本部にて実施する事業所訪問にあわせて、経営層のメッセージ伝達および社員との意見交換を実施。

（6）階層別コンプライアンス研修（8～9月）

新任ライン管理職等を対象として、オンラインによる研修を開催。

【実施日】 8月6日、8月19日、9月3日、9月17日、9月26日
(5回に分けて実施)

【受講者】 中国電力106名、中国電力ネットワーク74名、
グループ会社91名

【講 師】 中村 葉志生 氏（株式会社ハリーアンドカンパニー代表取締役）

【概 要】 コンプライアンス意識の浸透に向けたライン管理職としての必須知識
と心得について再確認することで、職場のマネジメントに活かし、不
祥事予防の一助とする。

（7）企業文化の変革に係る取り組み（9～11月）

企业文化変革推進に向けた取り組みを検討する「コーポレートカルチャー変革推進会議」について、2025年度第2回（9月5日）、第3回（10月6日）および第4回（11月21日）を開催。

（8）「内部統制強化委員会」の開催（9月）

2025年度第2回（9月3日）を開催。当社の内部統制強化の取り組み状況等を説明し、評価・助言を得た。

2. 内部通報制度の運用状況について

2025年8月～2025年10月の間に、相談窓口に7件（昨年同期5件）の通報・相談が寄せられた。いずれの事案についても必要に応じて事実調査等を行い、顕名による通報・相談者には結果を連絡するなど対応した。

社内・社外別 通報・相談件数 (件)

	8月	9月	10月	計
社内窓口	0(0)	2(0)	2(0)	4(0)
社外窓口	2(1)	0(0)	1(0)	3(1)
計	2(1)	2(0)	3(0)	7(1)

() はグループ会社等に関する受付件数を再掲。

顕名・匿名別 通報・相談件数 (件)

	8月	9月	10月	計
顕名	1(1)	1(0)	2(0)	4(1)
匿名	1(0)	1(0)	1(0)	3(0)
計	2(1)	2(0)	3(0)	7(1)

() はグループ会社等に関する受付件数を再掲